



六小通信



令和8年8月31日
9月号
小平市立小平第六小学校
校長 寺尾 千英

【学校教育目標】 ○考え、行動する子（自立） ○共に学ぶ子（共生）

自分たちの手でつくる

校長 寺尾 千英

厳しい残暑が予想される中、いよいよ2学期が始まります。

この夏休み中には、7月末に発生した熊本地震をはじめ、各地での局地的な豪雨など自然災害が相次ぎました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。本校におきましても、これらの出来事から得られつつある知見を防災教育や避難訓練に反映し、命を守る体制をより確かなものへと見直してまいります。

こうした安全への取組とともに、新学期をスムーズに迎えるために実施いたしましたのが、夏休み終わりの「オンラインホームルーム」です。ご多忙のところ端末の接続や環境づくりにご協力いただき、誠にありがとうございました。短い時間ではありましたが、画面越しに子どもたちの様子を知ることができ、私たち教職員も、温かい雰囲気の中で9月の学校生活を創っていきこう、と気持ちを新たにすることができました。

さて、スタートした2学期は一番長い学期であり、運動会をはじめ、社会科見学や校外学習など、子どもたちが心待ちにしている行事が数多く控えています。こうした様々な体験の場を通して、子どもたちが自らチャレンジし、自分らしく成長できるよう学習活動を工夫してまいります。特に今年度は、子どもたち一人一人の考えや意見、思いを積極的に生かした学びに重点をおいています。運動会に向けてはすでに5・6年生の実行委員が集まり、運動会のねらいを踏まえながらも実施種目の中に自分たちの考えを反映させて、自分たちらしい行事にしていこうと準備を始めています。そのほかの行事や委員会活動、学級・学年での活動の中でも自分の考えを表現し、友達と意見を交わしながら「自分たちの手で作り上げていく楽しさや達成感」を味わえるよう取り組んでいきます。

互いの意見を尊重し合いながら共に成長していく過程では、時には思いがぶつかり、悩む場面もあるかもしれません。ご家庭や地域で気になることがございましたら、いつでも遠慮なく学校へご相談ください。今学期も皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

9月の生活目標 「『ありがとう』と言おう」

生活保健部

私たちは、毎日の生活の中で、たくさんの人に支えられて過ごしています。

友達が手伝ってくれたとき、家族が準備をしてくれたとき、先生が声をかけてくれたとき。そうしたことを「当たり前」と感じてしまうこともあるかもしれません。しかし、誰かが自分のためにしてくれたことに気づき、「ありがとう」と伝えることは、とても大切なことです。「ありがとう」という言葉は、相手への感謝を伝えるだけではなく、その人の優しさや思いやりを感じていることを伝える言葉でもあります。また、「ありがとう」と伝えることで、今度は自分も誰かのために何かをしたいという気持ちが生まれることがあります。

人とのつながりは、大きなことではなく、日々の小さな言葉や行動からつくられていきます。感謝の気持ちを「ありがとう」ときちんと言葉にして伝えられる人になってほしいと思います。